

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月14日

上場会社名 アズマハウス株式会社
 コード番号 3293 URL <http://azumahouse.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 東 行男
 (氏名) 西田 明美
 配当支払開始予定日 — TEL 073-475-1018

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 4,469 | △37.2 | 381 | △60.2 | 450 | △51.2 | 314 | △44.5 |
| 26年3月期第2四半期 | 7,115 | — | 958 | — | 924 | — | 566 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 79.97 | 77.76 |
| 26年3月期第2四半期 | 176.33 | — |

- (注) 1. 当社は平成25年3月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 平成25年8月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
 3. 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高は存在するものの、当社株式は前第2四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価の算定ができませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 23,596 | 11,243 | 47.6 |
| 26年3月期 | 21,192 | 11,187 | 52.8 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,243百万円 26年3月期 11,187百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 70.00 | 70.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 70.00 | 70.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 13,286 | 0.4 | 1,675 | 1.0 | 1,675 | 6.5 | 1,034 | 0.3 | 263.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 27年3月期2Q | 4,031,700 株 | 26年3月期 | 4,031,700 株 |
| 27年3月期2Q | 100,000 株 | 26年3月期 | 100,000 株 |
| 27年3月期2Q | 3,931,700 株 | 26年3月期2Q | 3,213,000 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期損益計算書 | 8 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策の効果などを背景に企業業績の改善や雇用情勢の好転が見られ、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、景気の先行きは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響や海外経済の減速懸念などにより、依然として不透明な状況が続いております。

不動産市場におきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、新設住宅着工戸数は持家・分譲住宅を中心に今年の3月以降弱含んでおり、先行きにつきましても当面、同様の傾向が続くものと見込まれております。

このような事業環境の中、当社の主力事業である不動産・建設事業におきましては、現在進めております中期経営計画に則り、和歌山県下の和歌山市及び岩出市に設置した住宅展示場による集客を軸にした既存エリアでのシェア深耕、昨年12月に行った東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) 市場への上場による知名度向上を活かし、大阪府大阪狭山市の狭山金剛店出店による事業エリアの拡大を進めて参りました。

また、前年同期比で業績数値の落ち込みがみられるものの、それは前事業年度上期において大型土地の一括販売、分譲マンション「グランノーブル和歌山駅東」の完成に伴う売上が計上され、売上高が上期に偏重したこと及び有価証券報告書「事業等のリスク」にも記載させていただいている通り、当社の売上高は下期偏重の傾向となっており、当事業年度においては通常通り下期偏重見込みで推移しているためであります。その結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高44億69百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益4億50百万円（前年同期比51.2%減）、四半期純利益は3億14百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

セグメントの販売状況を示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 売上高(千円) | 前年同期比 (%) | 内容 |
|----------|-----------|-----------|--|
| 不動産・建設事業 | 3,219,547 | △47.7 | 土地分譲142区画 1,627,160千円 建物89棟 1,246,704千円 (うち売建28棟、建売41棟、注文建築20棟) リフォーム工事 179,286千円 仲介手数料等 166,395千円 |
| 不動産賃貸事業 | 712,130 | 2.7 | 居住用 840戸 414,383千円 テナント事業用 222店舗 248,938千円 駐車場その他 48,808千円 |
| 土地有効活用事業 | 222,413 | — | プラン提案型建築受注販売 |
| ホテル事業 | 315,328 | 20.4 | ホテル室料、飲食売上等 |
| 合計 | 4,469,419 | △37.2 | — |

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 不動産・建設事業

不動産業界におきましては、消費増税の駆け込み需要の反動減の影響があり、低金利の住宅ローン、住宅取得支援策の実施の下支えがある中で、全体として軟調に推移しました。しかしながら、一次取得層を中心とする住宅需要への影響は限定的であり、着工ベースでは回復の兆しも見え始めております。また、当社は東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場への上場による知名度向上を背景に、既存マーケットにおけるシェア深耕を図り、前年同期比で業績数値の落ち込みがみられるものの、建物販売棟数は計画通りの推移となりました。その結果、売上高は32億19百万円と前年同期と比べ29億40百万円の減少(前年同期比47.7%減)、セグメント利益2億58百万円と前年同期と比べ5億15百万円の減少(前年同期比66.6%減)となりました。

主な内容としては、分譲土地販売、分譲住宅販売、建売住宅販売、注文建築、リフォーム、不動産仲介であります。

② 不動産賃貸事業

売上高は7億12百万円と前年同期と比べ18百万円の増加(前年同期比2.7%増)、セグメント利益2億98百万円と前年同期と比べ31百万円の減少(前年同期比9.5%減)となりました。主な内容としては、賃料収入、管理手数料であります。

③ 土地有効活用事業

売上高は2億22百万円(前年同期比—%)、セグメント利益10百万円と前年同期と比べ31百万円の増加(前年同期は21百万円の損失)となりました。主な内容としては、プラン提案型建築受注販売であります。

④ ホテル事業

売上高は3億15百万円と前年同期と比べ53百万円の増加(前年同期比20.4%増)、セグメント利益71百万円と前年同期と比べ46百万円の増加(前年同期比191.9%増)となりました。主な内容としては、ホテル宿泊、飲食であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は235億96百万円となり、前事業年度末に比べ24億3百万円増加しました。

流動資産は100億92百万円となり、前事業年度末に比べ10億16百万円の増加となりました。これは主として、現金及び預金の減少15億48百万円、分譲用地仕入れに伴う販売用不動産の増加18億48百万円及び未成工事支出金の増加5億91百万円を反映したものであります。

固定資産は134億86百万円となり、前事業年度末に比べ13億89百万円増加しました。これは主として賃貸用不動産の新規取得等に伴う有形固定資産の増加13億73百万円を反映したものであります。

負債は123億52百万円となり、前事業年度末に比べ23億47百万円増加しました。

流動負債は43億50百万円となり、前事業年度末に比べ5億21百万円の増加となりました。これは主として、販売を目的とした土地の取得資金の借入に伴う短期借入金の増加3億30百万円、販売及び賃貸を目的とした不動産の取得資金の借入に伴う1年内返済予定の長期借入金の増加5億44百万円、1年内償還予定の社債の減少1億円及び未払法人税等の減少2億55百万円を反映したものであります。

固定負債は80億2百万円となり、前事業年度末に比べ18億25百万円の増加となりました。これは主として販売及び賃貸を目的とした不動産の取得資金の借入に伴う長期借入金の増加18億43百万円を反映したものであります。

純資産は112億43百万円となり、前事業年度末に比べ利益剰余金の増加39百万円により56百万円の増加となりました。これは主として、当事業年度に支払う配当金計上による繰越利益剰余金2億75百万円の減少及び四半期純利益3億14百万円を計上したためであります。自己資本比率は、前事業年度末の52.8%から47.6%と低下する結果となりました。

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期会計期間末に比べ3億45百万円減少し、21億96百万円となりました。また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果減少した資金は、26億3百万円(前年同期は12億90百万円の増加)となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益4億79百万円、たな卸資産の増加額25億22百万円及び非資金取引である減価償却費1億39百万円であります。主な減少要因は、法人税等の支払額4億12百万円及び利息の支払額69百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果減少した資金は、12億62百万円(前年同期は3億82百万円の減少)となりました。主な増加要因は、有形固定資産(主として賃貸用不動産)の売却による収入1億24百万円であります。主な減少要因は、有形固定資産(主として賃貸用不動産)の取得による支出14億39百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果増加した資金は、23億16百万円(前年同期は9億18百万円の減少)となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入35億3百万円であります。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出10億97百万円及び配当金の支払額2億74百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績については、平成26年11月12日の「平成27年3月期 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通りとなっており、通期の業績につきまして、現時点では、平成26年5月14日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,155,117 | 2,606,334 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,446 | 32,379 |
| 販売用不動産 | 3,886,065 | 5,735,003 |
| 未成工事支出金 | 369,265 | 960,500 |
| 貯蔵品 | 9,603 | 9,436 |
| 繰延税金資産 | 62,261 | 65,032 |
| その他 | 586,571 | 701,685 |
| 貸倒引当金 | △15,318 | △17,840 |
| 流動資産合計 | 9,076,014 | 10,092,532 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 4,384,858 | 4,460,387 |
| 土地 | 6,779,398 | 7,985,370 |
| その他(純額) | 184,937 | 277,082 |
| 有形固定資産合計 | 11,349,195 | 12,722,840 |
| 無形固定資産 | 39,953 | 38,440 |
| 投資その他の資産 | 707,091 | 724,736 |
| 固定資産合計 | 12,096,240 | 13,486,016 |
| 繰延資産 | 20,132 | 17,623 |
| 資産合計 | 21,192,387 | 23,596,173 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 10,302 | 8,206 |
| 工事未払金 | 424,934 | 488,377 |
| 短期借入金 | 636,900 | 967,200 |
| 1年内償還予定の社債 | 208,800 | 108,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,236,402 | 1,780,829 |
| 未払法人税等 | 425,569 | 170,264 |
| 賞与引当金 | 38,885 | 61,124 |
| その他 | 846,645 | 765,531 |
| 流動負債合計 | 3,828,440 | 4,350,334 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 394,600 | 350,200 |
| 長期借入金 | 5,415,309 | 7,259,194 |
| 資産除去債務 | 59,486 | 60,915 |
| その他 | 307,246 | 332,146 |
| 固定負債合計 | 6,176,643 | 8,002,455 |
| 負債合計 | 10,005,083 | 12,352,790 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 596,763 | 596,763 |
| 資本剰余金 | 528,963 | 528,963 |
| 利益剰余金 | 10,146,002 | 10,185,213 |
| 自己株式 | △133,178 | △133,178 |
| 株主資本合計 | 11,138,550 | 11,177,761 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 48,753 | 65,621 |
| 評価・換算差額等合計 | 48,753 | 65,621 |
| 純資産合計 | 11,187,303 | 11,243,382 |
| 負債純資産合計 | 21,192,387 | 23,596,173 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 7,115,374 | 4,469,419 |
| 売上原価 | 4,908,791 | 2,787,864 |
| 売上総利益 | 2,206,583 | 1,681,554 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,248,516 | 1,299,994 |
| 営業利益 | 958,066 | 381,559 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 426 | 407 |
| 受取配当金 | 5,019 | 15,580 |
| 受取手数料 | 13,918 | 10,103 |
| 匿名組合投資利益 | 6,419 | 97,453 |
| その他 | 18,473 | 16,141 |
| 営業外収益合計 | 44,257 | 139,684 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 72,967 | 66,294 |
| その他 | 4,729 | 4,127 |
| 営業外費用合計 | 77,696 | 70,421 |
| 経常利益 | 924,626 | 450,822 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 10,389 | 24,314 |
| 受取補償金 | — | 4,135 |
| 特別利益合計 | 10,389 | 28,449 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,007 | — |
| 固定資産除却損 | 6,393 | 0 |
| 特別損失合計 | 7,401 | 0 |
| 税引前四半期純利益 | 927,615 | 479,272 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 370,812 | 166,406 |
| 法人税等調整額 | △9,751 | △1,564 |
| 法人税等合計 | 361,060 | 164,842 |
| 四半期純利益 | 566,554 | 314,430 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 927,615 | 479,272 |
| 減価償却費 | 137,339 | 139,853 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,242 | 2,522 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5,445 | △15,987 |
| 支払利息 | 72,967 | 66,294 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 252,638 | △2,522,726 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △5,562 | 61,347 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 27,385 | 22,238 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △9,382 | △24,314 |
| 固定資産除却損 | 6,393 | 0 |
| 受取補償金 | — | △4,135 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 25,915 | 92,226 |
| 匿名組合投資損益(△は益) | △6,419 | △97,453 |
| 前払金の増減額(△は増加) | 214,856 | 43,383 |
| その他 | 57,142 | △380,023 |
| 小計 | 1,694,203 | △2,137,501 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,312 | 15,853 |
| 利息の支払額 | △83,568 | △69,139 |
| 法人税等の支払額 | △325,150 | △412,509 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,290,796 | △2,603,296 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 収用補償金の受取額 | — | 4,135 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △351,317 | △1,439,984 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 75,449 | 124,127 |
| 匿名組合出資金の払戻による収入 | — | 54,922 |
| その他 | △107,129 | △6,093 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △382,997 | △1,262,892 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 1,588,000 | 3,503,200 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,640,643 | △1,097,838 |
| 社債の償還による支出 | △106,385 | △144,400 |
| 配当金の支払額 | — | △274,501 |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △759,100 | 330,300 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △918,128 | 2,316,759 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △10,329 | △1,549,429 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,552,239 | 3,745,451 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,541,910 | 2,196,022 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------------|-------|----------------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 平成26年6月 27日定時株主 総会 | 普通株式 | 275,219 | 70 | 平成26年3月 31日 | 平成26年6月 30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------|----------|---------|-----------|
| | 不動産・建設事業 | 不動産賃貸事業 | 土地有効活用事業 | ホテル事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,159,676 | 693,692 | — | 262,005 | 7,115,374 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 6,159,676 | 693,692 | — | 262,005 | 7,115,374 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 774,231 | 330,273 | △21,067 | 24,339 | 1,107,777 |

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,107,777 |
| 全社費用(注) | △183,150 |
| 四半期財務諸表の経常利益 | 924,626 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------|----------|---------|-----------|
| | 不動産・建設事業 | 不動産賃貸事業 | 土地有効活用事業 | ホテル事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,219,547 | 712,130 | 222,413 | 315,328 | 4,469,419 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,219,547 | 712,130 | 222,413 | 315,328 | 4,469,419 |
| セグメント利益 | 258,740 | 298,822 | 10,031 | 71,042 | 638,635 |

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------|----------|
| 報告セグメント計 | 638,635 |
| 全社費用(注) | △187,813 |
| 四半期財務諸表の経常利益 | 450,822 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。